



「貝がら節祭り」水中花火



正調「貝がら節」踊り



「ゆうゆう健康館けたか」温水プール



「浜村温泉館」露天風呂

何の因果で

貝がら漕ぎなろうた

色は黒うなる

身はやせる……

独特の哀愁をおびた曲調と歌詞で全国的に有名な「貝がら節」は、気高町が発祥の地とされています。つらい重労働に耐えなければならなかった漁師たちの労働歌は、現在、「貝がら節祭り」という新たな表現の場を得て進化しています。

毎年8月の第1金、土曜日に開催されている「貝がら節祭り」は、町をあげての一大イベント。漁火を眺めながら、捕れたての日本海の幸を豪快に焼くシーフードバーベキュー「荒磯焼き」や、港で打ち上げられる水中花火は大人気です。そして、クライマックスの貝がら節総踊りは、地元の子連と観客が一体となり、和気あいあいと歌い、踊り、夜は更けてゆきます。

また、古くから温泉地として知られる浜村温泉は、約500年前に開かれ、温泉の豊富な山陰の中でも湧出量が

最も多いといわれています。小泉八雲もその著書の中で、「不思議なほど渚に近い温泉」と紹介しているとおり、潮騒を子守歌にゆったりくつろぐことができます。

さらに平成15年には、この豊富な湯を健康増進に役立てるため、健康増進・健康管理センター「ゆうゆう健康館けたか」がオープンしました。ここでは温泉を利用したプールを設け、健康運動指導士が個々に応じた水中運動を指導しています。また、前庭にある足湯と芝生の広場では、弁当を広げたり、転げまわって遊ぶなど、憩いの場になっています。

伝統と文化を大切にしながら、新しい時代に向けて変化していく…。気高町は古い歴史と、創造するパワーに満ちています。

